



モーツァルト・セミナー

～ LP レコードとピアノ生演奏で紐解くモーツァルトの人と作品～
ピアノ演奏とお話：江端津也子

第5回：青年モーツァルトのザルツブルクでの成長

父親レオポルトから天才教育を受けて早くからその才能を開花させたモーツァルトが、旅を通して多くの文化、言語、歴史を学び、音楽家としての実績を積み重ねていきます。

今回のセミナーは、1775年から1777年の青年期にスポットを当ててみたいと思います。1775年、19歳になったモーツァルトがミュンヘン旅行からザルツブルクに戻り、約2年半を故郷で過ごし、1777年9月23日に21歳でマンハイム、パリ旅行に出発するまでの時期です。35年の生涯の中で、珍しく故郷ザルツブルクに長い期間滞在することになったモーツァルトは、何を考へどのような作品を書いたのでしょうか？

演奏曲 ピアノソナタ 変ロ長調 K.281
ピアノソナタ ニ長調 K.284「デュルニッツ」

特別トーク カーサ・モーツァルト設立者中村澄枝様による「モーツァルトの足跡を尋ねて」
LPレコード鑑賞

～企画・構成 田嶋克彦～

モーツァルトセミナーも5回目を迎えることとなりました。

セミナーを連続して聞いてくださる方々のみならず、今回初めて参加される方々にもお楽しみいただければ大変幸いです。

江端津也子：ピアニスト

東京都出身。3才より母の手ほどきでピアノをはじめ、第22回日本学生音楽コンクール東日本大会小学生の部入賞。都立芸術高校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部卒、同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。在学中にウィーンに学び、国際ゼミナルコンクール第1位。自主企画サロンコンサートを開始、2019年10月に第15回サロンコンサートを開催の予定。リサイタル、自主企画サロンコンサート、ポーランド大使館にて招聘演奏、フォーレ協会演奏会、NHKFM放送などに出演。ソロ、室内楽、伴奏の演奏活動、モーツァルトセミナー講師を務める。後進の指導にも力を注いでいる。演奏活動を通して、現在までにモーツァルトピアノソナタ全曲、変奏曲全曲を完奏。安川加寿子氏、奥村洋子氏、河村昭三氏にピアノを、ピュイグ・ロジェ氏に室内楽を師事。日本演奏連盟、日本フォーレ協会、日本ピアノ教育連盟、モーツァルトティアンフェライン会員。

日時：2019年 7月7日（日） 14:00～16:00

参加費：2,500円 ペアでお申込み 4,000円（2名）※要予約

ご予約・お問い合わせ

Email: info-cmma@casamoz.org

Tel: 03-3402-1756 Fax: 03-3497-1833

東京都渋谷区神宮前 1-10-23 3階

URL: <https://casamoz.org/>



JR「原宿駅」表参道口徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5徒歩2分